

第2回 町田市成瀬センター建替検討委員会

会議録要旨

開催日時：2011年11月10日(木) 18:00～20:00

開催場所：町田市成瀬センター会議室(2)

出席委員：前島正光、中里孝夫、鈴木生一、井上祐次
萩原勝生、市川豊、赤澤純、伊藤倭子(敬称略)

欠席委員：田中米司、稲木健志(敬称略)

市側出席者：平野市民部長、河野市民部次長、大谷市民協働推進課長
三好市民総務課担当課長、渋谷営繕課営繕第一係長、
藤原市民総務課担当係長、服部市民協働推進課担当係長

コンサルタント：湯田元就、五十嵐隆

傍聴者：無

《次第》

1. 開会
2. 市民部長挨拶
3. 建替の前提条件の再確認
4. 成瀬センターづくり会議で出た主な意見と諸室等の配置イメージ
5. 増築棟およびホール棟の検討
6. その他
7. 閉会

《配布資料》

- 【資料1】 第1回成瀬センター建替検討委員会会議録要旨
- 【資料2】 建替の前提条件について
- 【資料3】 成瀬センターづくり会議ニュース第1号
- 【資料4】 成瀬センターづくり会議ニュース第2号
- 【資料5】 成瀬センター諸室等配置イメージ
- 【資料6】 増築棟およびホール棟の検討

1. 開会

事務局の進行により開会。

2. 市民部長挨拶

(市民部長)

当委員会と平行して開催されている成瀬センターづくり会議も10月30日に第2回が開かれ、活発な討議が行われ様々な意見を頂いている。後ほど内容を紹介させていただくが、それらも踏まえて内容を精査、検討いただきたい。

(委員長)

前日も申し上げたが、検討委員会は4回しかないため、2回目が非常に重要な会議となる。階段を一段一段上るように検討事項をつめていきたいと思う。

3. 建替の前提条件の確認

事務局から【資料1】「第1回成瀬センター建替検討委員会会議録要旨」を説明。

事務局から【資料2】「建替の前提条件について」を説明。

(委員長)

前提条件については前回お話をしているので、特別問題ないかと思われる。この件については討議の中で必要に応じて改めて触れていく。

4. 成瀬センターづくり会議で出た主な意見と諸室等の配置イメージ

事務局から【資料3】「成瀬センターづくり会議ニュース第1号」【資料4】「同2号」を説明。

事務局から【資料5】「成瀬センター諸室等配置イメージ」を説明。

(委員長)

資料の配置イメージはあくまでもイメージである。これを設計図のように解釈しないようにしていただきたい。実質的にはこれから議論を行い、本当にこの部屋が必要なかどうか、どの程度の広さが必要なのか、またこの絵に記載されていないもので必要なものがあるかどうかなどを考えていく。

5. 増築棟およびホール棟の検討

委員長により【資料6】「増築棟およびホール棟の検討」を用いて議事を進行。

(委員長)

増築棟およびホール棟の検討が今日の本題である。資料に記載されているように、とりあえず増築棟やホール棟という呼び方をしているが、校舎棟を建替えるのでこちらを増築棟と呼ばせていただく。既存のホールについてホール棟と呼ぶこととしたい。資料で増築棟について検討すべき項目を8項目提示した。第1の項目に必要な部屋の検討として課題を5点設定してあるので、順を追って説明していく。成瀬センターづくり会議でも諸室について色々な意見がでていたようだが、それも視野に入れながら検討を行いたい。本日詰めきれない部分も出てくれば次回の委員会でも議論を

しなければいけないと考えている。次回の委員会ではある程度考え方をまとめていきたい。それではまず多目的室について検討を始める。どこまで多目的に使っていけばよいか、どういうものを使うことを想定して多目的室を設けるのか。その目的を達するためにはどの程度の広さが適切なのか。また、そこに入る収容人員をどの程度と想定するかを考えたい。また多目的であるほど必要となる設備が多くなってくる。映写スクリーンやインターネット接続環境など様々なことが付随して発生する。次に会議室について考えたい。当然、会議することが目的の部屋であるが、本当にそれだけに使う部屋を作ってよいか。これを多目的に使った方がよいのではないかという考え方もある。これについても収容人員がどの程度なのか考える必要がある。少人数の会議もあると思われるが、ある程度の広さが必要となろう。今までの利用率あるいは部屋の使い方も含めて検討した上で、何部屋くらい必要なのか。先ほど説明があったが、全体で 1,000 m²という上限を想定しているので、沢山作るわけにはいかない。広さについても大きい会議室と小さい会議室が両方あったほうがいいのか、あるいは間仕切りで調整することが可能なのか検討が必要である。間仕切りについては防音の問題があり、それぞれ長所短所がある。以上の点を踏まえて多目的室と会議室について意見をいただきたい。

(委員)

過去 3 年間の利用状況を見てみると、第 1 会議室について利用率が 41%-43%-46%となっている。したがって今回の建替では第 1 会議室は必要ない。和室 2 についても 42%-46%-49%となっていることから、和室 2 も必要ない。よって和室は 1 つでよいのではないか。市外の施設を視察した時にホールが広い場合が多かった。バスケット、バレーボール、卓球または音楽活動などに使われているようだ。会議室については間仕切りにより 2 部屋とした場合には、もちろん遮音性が良くないと思う。多目的室については市の健康福祉会館 4 階を利用することがあるが、ホールに椅子を入れることで会議室として使っている。椅子や机をキャスター付きにするなど工夫が必要である。階数は 2 階までで良い。もちろん高齢化等を考慮しエレベーターは設置する。

(委員長)

現在の会議室について、今の形態に問題があって利用率が上がらないのか、あるいは他の要素により使われないのか。理由をどのように考えるか。

(委員)

要因は二つあると思われる。まずこの部屋に合わせて使わなければいけないことで、仕方がないから使っているのが実情。それからどうしても廊下側に声が漏れて話の内容が筒抜けになってしまうこと。ホールの音楽等も聞こえてきてしまう問題がある。

(委員長)

多目的室でも会議ができるという意見があったが、会議室を全て無くしてしまい全部多目的室にするという考え方はどうか。

(委員)

成瀬センターづくりニュースをまだ全部は読んでいないが、みなさん利用者の目線で意見が出されているようだ。それを踏まえ今後 50 年、100 年利用することを想定して考えるべきである。

(委員長)

確かに、今回建替える施設は30～50年もっていただきたい。先を見越して作る必要がある。

(委員)

多目的室と会議室を兼用して利用できる考え方は良いと思う。和室は少なくてよい。多目的室と会議室の利用について、音が出るスポーツや音楽の利用が会議利用者の障害とならないよう配慮が必要である。また、椅子等を収納するスペースを近く設ける必要がある。できれば部屋に隣接していると良いが、近くの倉庫に集約しても良い。高齢者や子供の利用者を考えると出し入れし易い工夫が必要だ。多目的室と会議室の両方の利用目的に対応して使える方が効率的だが、音を出して隣室に迷惑が掛からないようにするべきである。コストの問題もあるかと思うが、遮音を考えることは重要である。

(委員長)

いまお話があったように、金銭面でもメリハリをつけていくことが必要。多目的室と言いながらも部屋の性格を明確にするほうが望ましい。

(委員)

全ての目的に適應する多目的室の仕様は金銭面で大変となる。会議室を上手に配置することを想定してもよい。

(委員長)

本格的な音楽練習に対応するためには吸音を考えなければならない。コストがかかることであり、十分考慮しなければならない。

(委員)

設計図(資料の配置イメージ図)が良く出来ているのでとられてしまうが、多目的室はホールから近い位置にあり良い。リハーサルをする部屋はホールと同じ1階にあるべき。多目的室は小さいホールのような性格で防音設備があることが条件となる。卓球などができる設備も必要と考える。会議室はホールから離れた静かな場所が望ましいので2階に集めてみてはどうか。和室については大きい部屋と小さい部屋があると良い。現在、茶道の利用が見られないのは水屋等の設備が無いからである。最近では学校でも茶道の講習を行っていることもあり水屋があるととても良い。多目的室に映写スクリーン、マイク、スピーカーなどを整備して、ちょっとした映画会を開催出来るようにするのも良いのではないかと思う。

(委員長)

多目的室はホールほど大きくないとして、具体的にどの程度の人数が収容できる部屋がよいか。

(委員)

150名程度あると良い。

(委員長)

多目的室を複数つくる場合、大きさのある程度変える必要がある。音楽等を行う会館ではリハーサル室が用意されていて完全に防音、吸音もしっかりとした設備となっている。ホール棟が現在90%を越える利用率があり、予約が取りにくい状況であれば、音楽を中心とした多目的室を準備し

て振り分けて利用するのは良いかもしれない。

(委員)

多目的室は絶対に必要である。軽体操や音楽に利用している方が多く、楽器等を持ってくることがあるので多少広くて防音性能のある部屋が良い。また、小さくも大きくもできる部屋があっても良いのではないかと。人数が少なくても広い部屋を使わなければならないという状況であれば、隣室の音が聞こえることを覚悟の上で使うこともあり得るのではないかと。和室についてはお茶会ができるところまで設備が必要とは思わないが、例えば防災面を考慮して広い和室があると良いと考える。高齢の方が来られてゆっくりできる広さを持つ和室が1つあると良い。

(委員長)

広い和室は多様な目的に使うことができる、しかし少人数での申し込みがあった場合、かなり空いたスペースができてしまうのではないかと。また、隣室の音が聞こえてもよい会議室とあったが、隣の音が聞こえる状況で会議室を使うかどうかは気になる場所である。

(委員)

4、5人程度の会議で使うのであれば小さい部屋でよいと考える。

(委員長)

会議ではなくミーティングということであれば、ロビーにラウンジを設け、そこを利用できるような作り方をすれば、色々な方が利用できるのではないかと。作り方の工夫をしたい。

(委員)

多目的室を漠然と何でも出来る部屋としてしまうと、何もできない部屋になってしまうと考えている。例えば卓球等の軽スポーツができる部屋を望むのであれば、ある程度特化して体育館的な多目的室になるのではないかと。或いはちょっとした集まりでホールを利用したいのであれば現在のホールのサブホール的な多目的室が良いと考える。その中に会議室機能も含めて持たせていくとなると複雑になるのではないかと。この建物を純粋に会議で利用されている方がどれだけいるか。あまりいないのではないかと。どちらかと言うと会議室を使ってサークル活動を行う方が多いのではないかと。会議だけに使うのであれば大きな部屋は必要ない。一番大きい会議はこの運営委員会で使われる時ではないかと。サークル活動やスポーツに特化した多目的室のほうが利用率は上がると思う。また会議や読書で利用する「静」の空間とスポーツや音楽で使う「動」の空間はゾーニングでしっかり分けるべきである。できれば「動」の空間は1階、「静」の空間は2階とはっきり分割すると良い。

(委員長)

目的を明確にした多目的室を特性をしっかりと踏まえてつくる場合、設備も明確になってくる。例えばスポーツであればスポーツに特化した設備が集約できるメリットがある。和室に水屋が必要であるかという話題については、どこまで本格的なものをやるか、またどれだけの利用者がそれを望んでいるかということである。本格的にやるとなると部屋の作りが通常の和室とは異なってくる。逆に和室として多目的に利用するのであれば、水屋や炉などは制約を受けるかもしれない。

(委員)

茶室が話題となったが、知人が町田で水屋がある施設を利用した際に、知識の無いまま設計さ

れたと思われる施設があり使わなくなったという。和室は最小限で良い。必要であれば畳を持ってきて敷くことで軽体操などができる。会議室に関して言えるのは純粋に会議として利用しているのは運営委員会だけで、ほとんど他には会議としての利用はない。会社で会議する場合は立ってやればよいと言われることもある。20～30分であれば座る必要性はない。

(委員長)

お茶に関しては流派によって、炉の切り方等が少し変わることもあり、本格的に行うとなると難しいところはある。多くの町内会に参加した時の感想として和室はどうも嫌われているところがあるようだ。高齢者が立ったり座ったりすることが辛いのでフローリング化しているところもある。また、前回も申し上げたが、成瀬地域には集会施設が沢山あり、いつも満室ということは無い。ミーティングのみであればそれらも利用してみてもどうか。センターだけで全てを解決するのではなく周辺施設も活用したい。最近できた成瀬会館には会議室が沢山ある。

(委員)

多目的室は必要である。ホールが使えない時にホール代わりに利用したい。ホールほど大きくなくてよいが、30人～50人くらいが踊りやコーラスで使える広さがあると良い。会議室は会議目的だけで使っているという事例はあまり無い。成瀬センター運営委員会が40～50名規模で1年に何回か使う程度である。和室の茶道利用は殆ど無いのではないかと。また最近畳の部屋が高齢者に不人気である。お寺でも畳の部屋を板の間に変えたところがある。どうしても資料の配置イメージ図に関心が向いてしまうが、とても良く出来ていると思う。2階に会議室、1階に多目的室、地域活動室を配置するなど、今までの意見を集約し考えをまとめて作っていただいたと思う。ただし、ホール棟の話になってしまうが、和太鼓、大太鼓の練習をする場合に、地域の方から夜10時まで音が漏れて困るという苦情が寄せられているらしい。現在はドアが一重であるので二重にすることで音漏れを防げるのではないかと。

(委員長)

和室については、畳を裏返すと絨毯になるという製品をホテル用に設計したことがある。必要に応じた対策をとってなるべく多くの方が利用できる部屋作りを考えたい。利用される方が不便を感じて使わなくなるというのでは具合が悪い。これまでのご意見を参考にすると和室は一部屋で十分ではないかと感じられる。

(委員)

和室は一つで十分である。一般的な貸家を例にすると、和室は借りる人がいないと聞く。わざわざリフォームするそうだ。それから会議を行うときに和室だと行かないという意見があった。多目的室や会議室については皆さんと同様の意見である。階数について2階か3階かという話があったが、コスト的な面から見ても2階建てで十分ではないかと思う。ここには十分な敷地がある。これだけ恵まれた敷地は市内には無いと思う。他のセンターではこれだけの広さはない。

(委員)

利用料金についてはこれからの検討になるか。

(委員長)

利用料金については管理運営面における課題となる。ホールに準じる部屋を用意するのであれば、それなりの設備が必要である。利用料金もそれに準じた料金となると考えられる。

(委員)

配布資料の配置イメージ図に関して言うと、2階の緑地部分は費用の面から必要ない。

(委員長)

図面はあくまでもイメージであり、部屋のつながりもアウトラインだと思っていただきたい。まず基本的な考え方をまず詰めていきたい。緑化についても検討をしていく予定である。

(委員)

配置イメージにキッズエリアや防災倉庫なども入っているがこれらについても検討する予定か。倉庫に関しても多目的倉庫なのか防災倉庫なのか等の検討を今後するというのでよいか。

(委員長)

本日時間があればそれらの検討を行いたい、先に主な部分を議論したい。多目的室についてはどんな目的にも使えるというのは難しいので、多目的とは言いながらも性格を持たせたい。全体的な面積配分からおそらく二部屋くらい用意できると思われる。次に倉庫と共通部分について議論したい。倉庫については部屋の中の物を収納するスペースが当然必要となるが、その他に施設機能として倉庫スペースが必要となる場合があるか。

(委員)

倉庫は必要である。これだけの部屋数や容積があれば必要最低限のユーティリティは必要である。例えば多目的室では机・椅子が多数ある。

(委員長)

部屋の中で使う物以外に会館として収納する場所が必要となるか。

(委員)

緊急避難場所として非常食や寝具が必要である。

(委員)

運営委員会で毎年行っている成瀬センター祭りの神輿、櫓が現状では外に放置されシートがかかっている状態である。今後も祭りを行っていくのであれば、建替時にきちんと倉庫を確保したい。

(委員)

建設工事期間中の2年間は祭りはできないが、地域の親しみやふれあいのために必要である。

(委員)

先日ご意見が出た地区社協に関する事だが、第3次地域福祉活動計画が町田市と社会福祉協議会から出ている。成瀬・高ヶ坂地区において、地区社協を立ち上げる拠点が無いということで、そのための部屋を無料で使わせてもらえるような配慮をいただきたい。

(委員)

それは通年で常時使われるものか。もしくは会議室を貸出利用する形式でもよいか。

(委員)

会議室を利用するような形式でも構わない。有効に利用するのが第一である。

(委員)

倉庫に関して言えば、3.11 があつたことから防災倉庫の充実は避けて通れないと思う。どのようなものが必要で常備しておかなければならないか検討が必要である。ここは大きなセンターであり、倉庫もただ作ればよいというものではなく、多目的室や会議室と同様に一つの施設要素として議論するべきである。

(委員長)

倉庫の性格についても明確にする必要がある。防災倉庫についてどのように考えるのがよいか。

(事務局)

今までの建替の事例では住民から防災倉庫が必要であると強い要望が出ている。計画の中で防災倉庫として空間を確保している事例が多い。成瀬センターについても必要であれば、どのくらいの面積が必要になるのか事務局で検討して提示できると考えている。

(委員)

先程、指摘のあつたセンター祭りで使われる資機材は屋内の倉庫室ではなく屋外の簡易的な倉庫に収納してはどうか。

(委員)

今後祭りをやらないということであれば椅子・机用のスペースがあれば十分である。ただ現在、センター祭りやその他のイベントで使う梯子、脚立、ライン引き等が倉庫に入っているのは、それらがセンターを運営する上で必要なものだからである。邪魔だから外に置くというのでは、センターが自主的にやっているイベントは何なのかということになる。運営していく上で必要なものは、時代と共に変わっていく。そのような物を置いておくスペースというのは今後絶対に必要となってくるはずである。市に確認したい点として、成瀬センターの位置づけが避難所ではなく避難場所となっているが、災害時にホールを避難所として開放する可能性はあるのか。それにより備蓄する物が変わってくる。救援物資の拠点としてここを使うのか。グラウンドを避難場所とし、ホールは市で利用するのであれば違った話となってくる。その点は市の指示を仰がなければならない。

(委員)

防災倉庫については 1,000 m²の前提とは別枠として位置づけて考えるのか。

(事務局)

市の防災安全課の担当者は、屋外の倉庫では食料等の備蓄が難しいので、建替の機会があれば備蓄品を入れるために防災倉庫を屋内に作りたいという要望を持っている。今回もイメージ図の中では、倉庫に備蓄含むという表現をしている。行政としては防災倉庫のスペースは必要であり同じ施設の中につくるので 1000 m²の中に含むと考える。忠生市民センターの建替時においても防災倉庫を含めた建替となっている。

(委員)

付け加えさせていただくと成瀬センターの運営委員会は市民協働推進課と来週日曜日に自転

車安全運転講習会を行う。また来年 2 月 19 日に防災訓練がある。消防車やはしご車が来て大々的に開催される。

(委員長)

結局、成瀬センターが何のためにあるのかによる。防災の拠点でもあるが、もっと大きい目的として地域のコミュニティーであり、それを考えると祭りはあるべきではないか。そのような活動を通してコミュニケーションをとっていく核となる施設ではないか。そうするとそれなりの倉庫をつくるべきだという議論になってくる。

続いて次の検討項目である機能に関して議論したい。

身障者対応については単なるバリアフリーではなく、ユニバーサルデザインと呼ばれる幼児から高齢者まで、また健常者や身障者などの多様な方が使い易い形をとるべきとの考え方がある。いろいろな設備についてどこまで必要なかを考えることがテーマである。次に受付の在り方として受付と警備の検討をしたい。成瀬センターづくり会議でいろいろな意見が出ていて、誰でも入れて気楽に立ち寄れるべきとある。それは一面望ましいと言えるが、逆にセキュリティー面から考えると問題となる。ただ成瀬センターのような会館は入りやすいということが一番大事であり、親しまれなければ会館は使われない。またエントランスホールをつくり方として書籍を置いたり、ちょっとお茶を飲めたりするような場所があると交流が図れるのではないか。センターに初めて来た方が、このセンターにどんな部屋があり、どんな使われ方をしているのかを感じたり、迷った際に施設の特色を案内してもらえすることも必要である。成瀬センターに成瀬地区の方だけが来るとは限らない。他の市の方も場合によっては来るかもしれない。そのような方に成瀬センターの良さを感じていただくにはそれなりの仕掛けが必要である。そういったことからエントランスホールが非常に重要であると考えている。先ほどの身障者対応と合わせて何かご意見はあればお願いしたい。

(委員)

障がい者用の駐車場スペースを設けたりするなど、必要最低限の準備はしていただきたい。

(委員)

防犯カメラなども考慮に入れるべきである。市で防犯カメラを設定しているような施設はあるか。

(事務局)

他の地域センターでは無い。市民フォーラムだけは複合施設であるため設置されている。

(委員長)

防犯対策を講じている施設はあるか。

(事務局)

管理員、警備員が常駐しているので、人の目で防犯を行っているのが実情である。職員側では防犯の講習会、講演会を開催して防犯意識を高めている。地域センターの中でも支所が併設されているところは市職員が配置されているが、成瀬センター、つくし野センターのような地域センターは、管理員、警備員2名の防犯体制となっているのが実情である。ただし入口は一箇所として、受付を行ってチェックをしている。

(委員長)

管理方法については色々な対策を行っていくべきではあるが、入りやすさを考えた場合、監視されている雰囲気は望ましくない。防犯を考えた場合、見えにくい部分があると具合が悪い。成瀬センターには必要なポイントだけにカメラを設置すべきなどの意見があれば議論していきたい。

(委員)

設置するのであれば入口周辺に1つあるとよい。

(委員長)

建物の外などに植栽で隠れている部分があるので、そのあたりも視野に入れていきたい。これだけ広い施設なのでどこからでも入ることはできる。最近では中学生等が階段に座り込んだりする。

(委員)

ホールのグラウンド側の階段に明るいうちは子供たちが、日が暮れるにつれて年齢が上がって中学生がたむろしている。そういったところの警備も非常に重要である。今年あったことだが、祭りの際に出店・模擬店が出ていたスペースで夜中に子供達がつむろして盗難等が心配であった。

(委員)

警備がしやすいように植木も低木を利用するような設計が必要。明るくし、道路から見えるようにしてほしい。

(委員)

犯罪が起こるといのは入りやすくて、死角があり、逃げやすいところである。死角を少なくしたい。誰が来ても見渡せるようにしたい。

(委員長)

あとは夜間照明をどれだけできるか検討が必要である。沢山設置するのは難しいので必要な場所を絞って設置する。次に駐車・駐輪のスペースについて考えてみたい。配置イメージ図には駐車台数が30台程度となっているがいかかがか。

(委員)

この程度あれば問題ない。

(委員長)

駐車場の場所については概ねイメージ図の位置にせざるを得ないと思う。駐輪場の場所については多少移動が可能である。

(委員)

駐輪場の想定位置についてだが、ここには現在堀切がある。堀切・二宮金次郎・校門は残して欲しい。歴史的なものも考慮した駐車場・駐輪場の配置にして欲しい。

(委員長)

敷地の中に会館名の表示、ベンチや掲示板があるかどうか等、建物以外に必要なものを検討したい。例えば、南側の道路に面して掲示板があるが、北側駐車場の入口には会館名を示す掲示板がない。またグラウンドを利用する方や利用者のコミュニケーションを図るという目的からベンチを設置するのも良いのではないか。

(委員)

一般家庭に無いような開放感を感じる要素・空間があると良い。

(委員長)

駐車場側に掲示板の設置は必要ではないか。今後は駐車台数も増加してくるので、現在とは印象が変わってくる。人の出入りも増えるため、目に止まるものがあったとしても良いのではないか。

(委員)

車で来る人は南側の案内掲示板を見ていない。駐車場側に掲示板があればアピールになる。

(委員長)

成瀬台から歩いて来る方も多く、そういった方は駐車場側から入ってくる。現状では見方によっては建物が横を向いているようにも見える。今後は駐車場側からも大勢の人が入ってくる。

(委員)

裏(駐車場側)から来る人と表から来る人は性格が違うと思われる。成瀬センターを知っている人は裏から、一般の通行者は表から来ると考えられる。掲示板を設置するとしても主旨が違ってくるのではないか。市全体の広報に関わるものは現在のまま表でよい、裏に出すのであればセンターの催し物を掲示するためのものでよいのではないか。

(委員長)

次の検討項目として太陽熱など自然エネルギーの活用について意見をいただきたい。こういった要素を取り入れるかどうか、費用の問題もあるので希望があっても実現できない場合もあるが、考え方としてどうあるべきかと思い検討事項としている。

(委員)

最近の電力不足を考えると、節電という意味から市の建物としては導入してもらいたい。例えば太陽光パネルなどが該当する。ただ費用対効果を考慮する必要はある。

(委員長)

グラウンドと建物の関係性も検討したい。グラウンドと建物は別個といった使い方は当然あり得るが、一体化して利用されると良いと考えている。先程申し上げたようにエントランスホール部分でお茶を飲んだり、本を読んだりしながらグラウンドがよく見えると居心地が良いのではないか。

(委員)

建物のグラウンド側がガラス張りでゆったりした気分で過ごせる場所と建物奥の静かに過ごせる場所を受付を境にして右と左で雰囲気の違う空間を配置できれば良いと考えている。

(委員長)

成瀬センターづくり会議でも意見が出ているが、図書館ほどではないにしろ書籍を置いて、色々なものが読める場所を望まれている方もいるようだ。本を静かに読めるスペースはあると良いかもしれない。そこでお茶を飲めるとなお良いが、自動販売機などで対応も可能と思う。

(委員長)

次にホール棟について議論したい。ホールの基本方針と具体的事項に分けて検討したい。現在のホールのあり方や使い方を改めてもう一度考えることによって初めて必要な機能、性能が見え

てくる。成瀬センターづくり会議でも意見が出ているように音響・遮音の問題を実感している方が多いようだ。前回も話題としたが、このホールでどれだけのレベルの音響性能が必要なのか。統計資料を見るとプロが使った形跡は見受けられない。

(委員)

多目的室の延長として設計されているのでプロの利用は想定されていない。ピアニストの方がコンサートを開きたいということがあったが、ステージ上で音がまったく聞こえないため別の施設を探すことになったことがある。

(委員長)

ホールは形状で音の伝わり方が変わる。また反射材によっても違いが発生する。現状ではプロの利用は想定していない。プロの方が利用するとなると町田の中では市民ホール含め2~3箇所しかない。地域の施設としてのあり方を考えるとプロを呼ぶ必要性まであるのか。逆に他のセンターとは違うという意味を込めてプロも使えるホールにするのか。現実的な対応として今よりは良い音響性能を実現するといったところか。

(委員)

太鼓・和太鼓の演奏について、21時以降は行ってはならないなど細かい決まりがあるが、200~300m離れた場所から苦情があった。成瀬センター以外で成瀬センターより良い音響設備があるところはどこがあるか。

(事務局)

鶴川の緑の交流館が該当する。

(委員)

その程度にはできないか。

(事務局)

あくまで成瀬センターは地域のセンターなので、プロが利用するまでは想定していない。

(委員長)

プロが演奏するとなると有料になるため、席数が関係してくる。それらも考慮すると規模的にプロが利用するような施設にはならない。ただし音響性能についての課題は何なのかは明らかにしておきたい。苦情が出るということは何が原因だったのか。

(委員)

遮音が問題だったようだ。また演者も音が取れないということがある。

(委員長)

反射板が後ろに無いため、演者に音が伝わりにくいことが考えられる。演奏者はスピーカーで自分の音を確認することになるがそのための装置が無い。音が拡散して前に出て行かないということも考えられる。

(委員)

学校の学芸会レベルという認識である。

(委員)

せめて地域において趣味の活動をしている方の発表に耐えられる音響設備が欲しい。そうなる
と現在の体育館的なホールと新たにつくる多目的室をスポーツと音楽に分けて分担することを考え
ても良いかもしれない。

(委員長)

音楽活動を行う場合にリハーサルの練習する場所があり、本番はホールというような使い方は
必要か。

(委員)

それはあり得ると思う。ただホールで椅子を全て出すのは1年に1回の成瀬センター祭りだけで
ある。沢山の人を呼んで演奏するような場面は聞いたことが無い。そうすると舞台自体を置いておく
べきかが疑問になってくる。

(委員)

逆に音楽室に特化した部屋を作るのはどうか。楽器等を利用する団体が多いのであれば特化さ
せたがほうが使う頻度は増えると思う。

(委員)

あくまでも市の施設であるので、費用的にどこまで性能を求めるかが問題である。

(委員長)

遮音の問題について、グラウンド側のドアが一重になっている。今のままでは完全に音が漏れて
しまう。廊下側のドアについても音が漏れてしまう。

(委員)

会議室でホールの音がまともに聞こえてしまう。

(委員長)

遮音をしっかりするという事は課題である。音響効果についてはできる限り高めていく。内装部
分についても壁、床や天井もだいぶ劣化していて内装も改修せざるを得ない。欲を言えば、その
際に壁面に凹凸をつけて音響効果を高めるのはどうか。照明についても現在、操作がしづらい部
分があるので再考していただきたい。空調もだいぶ劣化している。

(委員)

場内に冷房を入れると、舞台の音が聞こえなくなるらしい。空調のスイッチを入れたり、切ったりし
て工夫している。空調については改善して欲しい。

(委員長)

その状態ではホールとして機能することが難しい。その他に舞台照明、舞台音響、舞台装置に
ついてはどうか。幕の数が足りないなどはないか。

(委員)

利用の際それほど困っているということはない。

(委員)

センター祭りの時は成瀬高校がボランティアに入って頂いている。現状では人海戦術で対応を

行っている。運営委員の努力によりホールは何とか利用できている。

(委員長)

改修工事を行うとなると、これまでの議論を整理し、今よりも使い易くしたいと思う。控え室の問題も出ていた。控え室についてはどうか。

(委員)

狭いと言える。大勢で行う演目では人が入りきれない状態である。控え室が少ないこともあるがスペースが狭いことが最大の問題である。控え室で出演を待っている方と現在演目を行っている方が両方いると、入りきれない。控え室なのに着替えすらできない状態である。

(委員長)

控え室を複数作るのは難しいので、他の部屋を兼用して控え室として利用するのが良いと思われる。トイレについてはどうか。

(委員)

トイレは非常に使いやすい。綺麗になった。

(委員長)

ホール棟の収納スペースはどうか。現在は椅子が山積みになっている。

(委員)

成瀬高校が吹奏楽で利用する譜面などもある。

(委員長)

どれだけの物を舞台でやるかに関わる問題で工夫が必要である。本日は多面的に検討を行ったが、次回は本日出た意見をまとめていただき、それを見て不足部分の整理を行いたい。地域のコミュニティーの核として有効に活用できる増築棟、ホール棟を検討していきたい。

6. その他

参考資料として成瀬センターづくり利用者アンケート(案)用紙を配布。

(事務局)

センターを利用していただいているサークルを対象として、少しでも多くの意見を集約するために明日から1ヶ月にわたり、利用者アンケートを実施する。12月22日に第3回建替検討委員会があるので、その際にアンケートの収集結果をお伝えする。次回も午後6時開始となる。何か意見・要望があれば来週中までを目途に市民総務課まで連絡していただきたい。

7. 閉会

事務局の進行により閉会

以上